

お彼岸の道作り

柵田を維持するために

三月二十二日、お彼岸の道作りに参加させていただきました。本来は農地を所有されている方が参加するものでしたが、特別に参加させていただきました。

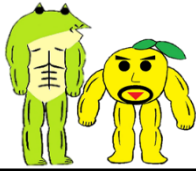
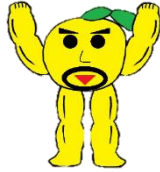
山の中の水路の大きな岩を動かしたり、溝の土砂を片付けたりと大変な作業が多かったです。こうした作業が岩陰の柵田を維持していく上で大切だなと感じ入りました。

翌日は案の定、多少の筋肉痛にさいなまれました。

隊員レギュラー出演
「京の田舎暮らしだより」
京都三条ラジオカフェ
FM 79.7MHz
毎月、第2、第4火曜日
12:00 ~12:09
4月は14日と28日です！

<http://radiocafe.jp/2019010001/>

↑ここから聴けます！



やれることを着実に

新型コロナウイルスの影響で、各地ではイベントや会合などを自粛する動きが強まっています。岩陰・水尾でも自治会の総会が中止になったりするなど、ところどころで影響が出ております。

そんな中でも、移住希望者の方が来られたりするなど、明るいニュースもちらほらとあります。

こんな時でもやれることを着実にやっていくことが大切だと感じました。終息したその時まで、力を温存するときかもしれません。

二十一日、NPO法人「ムラツムギ」さんのセミナーに参加させていただきました。

「集落の終わり」を考える地域支援の団体「ムラツムギ」さんが立ち上がって早一年、学習会やフィールドワーク、京都府との協力を得て集落に出向き人口減少を見据えた地域運営のセミナーを開催したりと、真新しい動きが着々と。

「終わり」というのは抵抗があるにしても、人口減少を見据えたムリのない地域づくりにコミットする「ムラツムギ」さんの活動には今後注目ですね。



京都市文化市民局地域自治推進室北部山間かがやき隊
岩陰・水尾地域担当 五明 昇祐
京都市右京区嵯峨嵯原宮ノ上町二一五 岩陰出張所
電話 〇七七ー 四四 〇三一四

日の要慎

▽今年の大河ドラマの主人公明智光秀の出自は土岐氏、もとは清和源氏だという。亀岡から愛宕山へ抜ける「明智越え」だが、本能寺の前に光秀は水尾に寄ったのか、清和天皇の陵に参ったのだろうかと思像する。

▽天皇の諱は多くが「思いやり、慈しみ」を意味する「仁」が通字だ。実は清和天皇(惟仁)が始まりだとされる。清和天皇は「仁」を備えた方だったとされ、清和天皇に倣って「仁」が天皇の通字になったのではないかとも考えてしまう。

▽清和天皇の孫、経基王は「源」の姓を受け臣籍降下して、戦の世に身を投じていき、子孫は源頼朝、足利尊氏など、清和源氏は武家の名門となっていくってしまう。「仁」を備えた清和天皇はその史実を水尾山からどう思ったのだろうか。

▽なお余談だが、私の母の旧姓「水野」であり、諸説あって、右京区の嵯峨野水野邑に住んだ貴族に由来するとか、清和源氏に由来するという説もあり、何かしらの縁を感じる。